

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【公開番号】特開2016-159259(P2016-159259A)

【公開日】平成28年9月5日(2016.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2016-053

【出願番号】特願2015-42081(P2015-42081)

【国際特許分類】

B 0 9 C 1/06 (2006.01)

B 0 9 B 3/00 (2006.01)

【F I】

B 0 9 B 3/00 3 0 3 P

B 0 9 B 3/00 Z A B

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象土壌に挿入する電極の一部の深度の部分の外周に非導電部を設けることを特徴とする、電気加温法を用いた土壌浄化方法。

【請求項2】

前記非導電部が2箇所以上の深度の部分に設けられていることを特徴とする請求項1に記載の電気加温法を用いた土壌浄化方法。

【請求項3】

土壌に挿入する部分のうちの一部の深度の部分の外周に非導電部が設けられていることを特徴とする、電気加温法を用いた土壌浄化方法のための電極。

【請求項4】

前記非導電部が2箇所以上の深度の部分に設けられていることを特徴とする請求項3に記載の電気加温法を用いた土壌浄化方法のための電極。

【請求項5】

a) 土壌に含まれる地下水を取り込むための透水性を有する井戸枠と、
b) 前記井戸枠の中に挿入された、前記井戸枠とは電氣的に絶縁された電極と、
c) 前記井戸枠に取り込まれる貯留水の水面下にその一端が位置するように前記井戸枠内に挿入された揚水管と、
d) 前記井戸枠の中に挿入された、前記水面下において前記揚水管内に空気を送り込むための送気管と

を備え、前記電極の前記水面下の部分のうちの一部の深度の部分の外周に非導電部が設けられていることを特徴とする、電気加温法を用いた土壌浄化方法のための井戸構造体。

【請求項6】

a) 導電性と、土壌に含まれる地下水を取り込むための透水性とを有する井戸枠と、
b) 前記井戸枠に取り込まれる貯留水の水面下にその一端が位置するように前記井戸枠内に挿入された揚水管と、
c) 前記井戸枠の中に挿入された、前記水面下において前記揚水管内に空気を送り込むための送気管と

を備え、前記井戸枠の土壤に挿入する部分のうちの一部の深度の部分の外周に非導電部が設けられていることを特徴とする、電気加温法を用いた土壤浄化方法のための井戸構造体。

【請求項 7】

前記送気管が前記揚水管の外に設けられていることを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の、電気加温法を用いた土壤浄化方法のための井戸構造体。

【請求項 8】

前記送気管が前記揚水管の中に設けられ、前記揚水管と前記送気管が二重管構造となっていることを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の、電気加温法を用いた土壤浄化方法のための井戸構造体。

【請求項 9】

前記送気管の下端が封止され、側面に開口が設けられていることを特徴とする請求項 8 に記載の、電気加温法を用いた土壤浄化方法のための井戸構造体。

【請求項 10】

- a) 導電性と、土壤に含まれる地下水を取り込むための透水性とを有する井戸枠と、
- b) 前記井戸枠内の水を汲み上げるための手段と

を備え、前記井戸枠の土壤に挿入する部分のうちの一部の深度の部分の外周に非導電部が設けられていることを特徴とする、電気加温法を用いた土壤浄化方法のための井戸構造体。